

令和2年2月19日

保護者の皆様

2020年度の教育課程策定に向けて

—学校評価アンケート等を踏まえて—

山形大学附属小学校
校長 樋口 潤一

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、このたび実施いたしました学校評価アンケートにもご協力いただき、重ねて御礼申し上げます。本校児童及び教職員の自己評価や皆様からいただいたご意見等も踏まえながら、来年度の教育課程策定に向けた検討を現在進めているところです。

2020年度から新たな学習指導要領が全面実施となること、大学改革と共に附属学校の在り方改革が進行中であること、さらに全国的に働き方改革の推進が求められていること等により、本校の教育課程も一層の見直しが求められております。

つきましては、下記の視点を定めて、よりよい教育課程策定に向けて取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

記

□学習指導要領の全面実施による視点

- 新学習指導要領の趣旨反映や外国語・外国語活動導入による時数増に対応するために、行事等の見直しなどによる、年間指導計画の改善を図る。

□附属学校の在り方改革による視点

- 国立大学附属学校としての存在意義・役割・特色の明確化を図る。
- 「研究成果の還元」を強化し、地域の教育への貢献を図る。
- 教職生活全体を見据えた教員研修に貢献する学校の機能強化を図る。

□子どもたちの将来に亘る充実した人生を見据えた資質・能力育成に向けた視点

- 変化にも柔軟に対応する力や、困難に立ち向かう強い意志等を育む教育の充実を図る。
- 郷土への理解を深め愛着と誇りをもち、広い視野で行動できる能力の育成を図る。

□働き方改革による視点

- 教職員の心身の健康やワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務時間の適正化を図る。
- 教員が児童の教育に専念できる組織づくりを推進する。

□よりよいPTA活動の在り方検討による視点

- 保護者同士の理解を深め合い、支え合う関係を築くPTA活動を推進する。
- より無理のない、だれもが参加できるPTA活動の在り方を検討する。

以上